

レンタルふくしのまち鴻巣便り



福田 昌弘【所長】
(ふくだ まさひろ)

真面目なご挨拶

4月に新スタッフ 波田野が加わりレンタル鴻巣初の5名体制となりました。これもひとえに、ケアマネージャーの皆様のおかげだと思っております。本当にありがとうございます!!

技師装具士の黒沢に続き、理学療法士の波田野が加わった事で、今後もお客様の在宅生活に少しでもお役に立てるよう、お互い様の心でチームワークを大切にし、スタッフ一丸となって頑張っていきますので、今後とも宜しくお願い致します。(今月号は、所長風ふかして真面目なご挨拶となっていました。来月号からは、また元に戻ります(笑))



加藤 忠志
(かとう ただし)

パンに塗る

最近、我が家でブームになっている物です。カルディのカレーパン・メロンパンとポテトtoastシリーズです、一番人気はやはりカレー味で、多い時は買い置きが3,4個置いてあります、他にもいろいろな物があるようで、気になる物を見つけると試しに購入して食べ比べています、他の物で何かおすすめがありましたら教えてください。



尾上 亮
(おのうえ りょう)

懐かしいです

最近、テレビで80年~90年代の音楽番組を見る機会が増えました。先日、そんな番組を見ていたら『お~!懐かしい~!』と思える歌手の紹介がありました。『小比類巻 かほる』です。

珍しい苗字と当時、CM等で曲が使われていた為、名前は直ぐに覚えて良く聴いていました。

確かレコード持ってたよな~と思い、探してみたら、やっぱりありました。ついでにスターダストレビューとか田村直美(PEARL)も見つかり、より懐かしい気持ちになりました。



波田野 正
(はたの あきら)

「正」で「あきら」と読むんです

初めまして、4月1日付でレンタルふくしのまち鴻巣に配属となりました、福祉用具専門相談員の「波田野 正」と申します。

大学卒業後は"理学療法士"として回復期の病院に勤め、前職は"ファイナンシャルプランナー(保険業)"として皆さまの悩み事の解決に努めて参りました。

これからは1日でも早く皆さまのお力になれるよう誠心誠意努力いたしますので、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

…と、お堅い挨拶にはなりませんが、次回はお役立ち情報(とちょっとした私の趣味)を皆様にお届けしたいと思います!!

ふくしのまち 鴻巣 便利 裏面 コラム

基本理念は スイーツの 楽しみ方

しゅがーいすむ

新緑の候、弊営業所では早くも冷房を利かせることがザラになってきた折に涼風を運びたるものは…そうです、甘いものです! 福祉用具専門相談員として波田野さんが新たに入社し、ふくしのまち便りのコメントコーナーも無難に両面印刷の表2枚の裏3枚で分割されるのかなあ…、などと考えておりましたらご覧の有様です! よもやよもやの展開ではありますが、うれし恥ずかしながら私の甘いもの紹介コーナーが各所方面でご好評頂いているとのことで、今後は片側一面を丸々頂いて甘いものを紹介していく運びと相成りました。わあい。

写真は、抹茶や日本茶を専門とするカフェチェーン店『nana's green tea』さんのスイーツメニュー、『抹茶生チョコレートパフェ』です。それ単体で既に完成されているレベルで美味しい抹茶生チョコレートを筆頭に、品のある風味で冷たく味を彩る抹茶アイス、甘さのアクセントとなる小豆の香り高い粒あん、それらをまろやかにまとめ上げて幸福感を累乗に押し上げるソフトクリームなど、スキのない布陣…! さらに、香ばしさを添えて食感を楽しくしつつも主張し過ぎないフレークと、グラス内の何と食べ合わせても上品に馴染む抹茶プリンが、ともすれば甘さ一辺倒になりがちなパフェの主役達に対するカウンターバランスとなり、最後まで飽きの来させない逸品へと仕立てあげています。抹茶の苦味と様々な甘味をグラスの中で雅なまでに調和させながらスラリと佇むその一杯は、侘び寂びを併せ持つ日本的な機能美すら感じる、まさしく和パフェの極致のひとつと言っても過言ではないとだろう逸品です…! また、nana's green teaさんは『現代の茶室』を表題しているだけあり、緑茶やほうじ茶などのドリンクメニューが充実しているのですが、中でも水出し宇治煎茶と頂くこのパフェのなんとまあ美味しいことか…!! 松尾芭蕉が入店したら思わず一句詠みそうな、そんな『和』の魅力と落ち着きに絢爛さを兼ね備えたひと時を過ごせること請け合いです。

この抹茶生チョコレートパフェ、自分は静岡で一人暮らしをしていた頃にはもう月に3、4杯は食べるほどお世話になっており、当時の痛し辛しもこれがあったから乗り切れた言えないこともない、自分にとって思い入れのある一品です。それ故に今回からの一面スイーツ記事の第一号として片っ端っから褒め散らかしてやろうと味を思い出しながらキーボードを打鍵していたのですが、案の定その味が恋しくなってしまうというもの…現在もお口の中が抹茶待機状態です。静岡まで行かずともこの辺りで食べられないものかと調べてみたら、埼玉県内にも富士見や浦和の辺りに出店しているようです! 嬉しい!! 皆さんも機会があれば是非ともご賞味ください!!!



黒沢 紫雲
(くろさわ しゅん)

